

令和 5（2023）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ハモ太平洋中・南部

対象水域	太平洋中・南部	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、愛知県水産試験場 漁業生産研究所、和歌山県水産試験場、徳島県立農林水産総合技術支援センター 水産研究課、高知県水産試験場、愛媛県農林水産研究所 水産研究センター、大分県農林水産研究指導センター 水産研究部
------	---------	-------	--

(1) 調査の概要

- ・機構は卵稚仔調査、漁場別漁獲状況調査を実施
- ・各県は漁業情報収集調査、生物情報収集調査、卵稚仔調査を実施
- ・本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

- ・機構では、1978～2022年の卵稚仔調査結果および太平洋中部・南部沖合底びき網漁業漁場別漁獲統計年報による1973～2022年の漁場別の漁獲量と努力量（網数）をとりまとめ済み
2023年以降の同様のデータを収集中
- ・愛知県では、標本漁協における2010～2023年10月の月別漁獲量、1987～2022年の年間漁獲量と出漁隻日数、2020年8月～2023年10月の全長（背鰭前長から換算）を収集済み
2023年11月以降の同様のデータを収集中
- ・和歌山県では、標本漁協における1996～2022年の年間漁獲量および2006～2023年9月の月別漁獲量、標本船における2006～2022年の漁獲量と努力量を収集済み
2023年10月以降の同様のデータを収集中
- ・徳島県では、標本漁協（漁業種別）における2005～2023年9月の月別漁獲量と努力量を収集済み
2023年10月以降の同様のデータを収集中
- ・高知県では、標本漁協（漁業種別）における1971～2022年の漁獲量と2010～2022年の努力量、および沖底統計から1971～2022年の高知県海域での漁獲量とCPUE（2022年は高知県漁協統計）、2019～2023年12月までの精密測定及び耳石長・輪径データを収集済み
標本漁協における漁獲量と努力量を除いて、2023年以降の同様のデータを収集中
- ・愛媛県では、標本漁協における2002～2022年10月の漁獲量（漁業種別または月別、漁協によって開始年が異なる）、および2023年10月までの精密測定データを収集済み
2023年11月以降の同様のデータを収集中

- ・大分県では、標本漁協における1980～2022年の漁獲量と1954～2022年の漁業種別漁獲量、標本漁協における2016～2023年9月の月別漁獲量および2011～2022年のCPUE、2023年の漁獲物全長（下顎長から換算）および2018～2019年の胃内容物データを収集済み
2023年10月以降の胃内容物を除く同様のデータを収集中

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊： 令和3年度資源評価調査報告書を参照
- (2) 年齢・成長： 令和3年度資源評価調査報告書を参照
- (3) 成熟・産卵： 令和3年度資源評価調査報告書を参照
- (4) 被捕食関係： 令和3年度資源評価調査報告書を参照
(https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2021/trends_2021_17.pdf、2023年12月閲覧)

(4) 備考

- ・資源評価調査報告書については令和3年度に公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2021/trends_2021_17.pdf、2023年12月閲覧）、令和6年度に更新予定